

群馬県立県民健康科学大学大学院（第2次募集）

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

2025年度 一般選抜・社会人特別選抜試験問題

小論文試験問題

群馬県立県民健康科学大学大学院

小論文試験問題 1 問題用紙

以下、川島みどり著の「いま、^{かんご}看護を問う」の文章を読み、各問に答えなさい。

〈前略〉

看護本来の役割は、病人自身の持っている自然の回復過程を整えること、すなわち、日常的で習慣的なケアを提供することにある。医師は、メスをはじめ種々の器械を用いたり医薬品などを用いて治療を行なうため、その過程で患者は多かれ少なかれ、緊張や不安、苦痛などを伴うのが一般的である。これに対して看護行為は、心身ともに安楽をはかりつつ、時に症状緩和や疾病の治療をはかることさえ可能なのである。

一方、診療の補助業務も看護業務の一環であり、時代の変遷や技術進歩によってその内容も少しずつ変化してきている。しかし、医師に並んで医師の代行をすることが進歩ではない。検査や治療に対する患者の体調を整え、不安や苦痛の軽減をはかる一連の活動こそ、看護の本質から見た真の診療補助行為といえよう。どのように医療が高度化しようと、この面での看護の働きが充実し高まることにより治療効果も高まり得ることを忘れず、常に患者のそばにいて見守り支持し、安全性をチェックする主体的な活動についての自覚を持つとう。

〈後略〉

〔出典〕川島みどり（2015）：いま、^{かんご}看護を問う、看護の科学社，p.10-11.

問1 下線について、筆者が述べようとしていることは何か。100字以内で述べなさい。

問2 日々の実践を通してあなたが考える「診療の補助業務」とは何か。600字以内で述べなさい。

受験番号	氏 名

小論文試験問題 解答用紙 1-1

問 1

[illegible]

100

問 2

[illegible]

100

200

300

次ページに続く

群馬県立県民健康科学大学大学院
看護学研究科看護学専攻(博士前期課程)
2025年度 一般選抜・社会人特別選抜
(第2次募集)
小論文試験問題 解答用紙1-2

受験番号	氏 名

問2 (続き)

																					400
																					500
																					600

※ 得点

注 意 事 項 （小論文試験）

- 1 小論文の試験時間は、9時20分～10時50分です。
- 2 試験問題用紙の表紙が願書提出時の選抜区分であることを確認してください。
- 3 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。下書きは用紙の余白をお使いください。
- 4 すべての解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入してください。ただし、※印欄には記入しないでください。
- 6 問題用紙・解答用紙に不鮮明な部分や汚れなどがある場合は、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験中に質問や用便などの用件がある場合も、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 8 試験開始後は途中退室を認めません。
- 9 問題用紙・解答用紙を持ち帰ることはできません。
- 10 不正行為や、他の受験生に迷惑となる行為をした場合は、退場させることがあります。